

横浜市スポーツ施設の指定管理者の候補者の選定に関する要綱

制定 平成 26 年 2 月 6 日 市ス第 1030 号（局長決裁）

（趣旨）

第 1 条 この要綱は、横浜市市民局の所管するスポーツ施設の指定候補者（指定管理者の候補者をいう。以下同じ。）の選定（以下「選定」という。）を適正に管理者の選定を実施するための手続等を定める。

2 選定は、公平性及び透明性を確保して、実施しなければならない。

（定義）

第 2 条 この要綱において「スポーツ施設」とは、横浜市スポーツ施設条例（平成 10 年 3 月横浜市条例第 18 号）第 1 条に規定する横浜国際プール及び横浜文化体育館並びに横浜市公園条例（昭和 33 年 3 月横浜市条例第 11 号）別表第 2 の 2 に規定する三ツ沢公園（体育館に限る。）をいう。

2 この要綱において「指定管理者」とは、横浜市スポーツ施設条例第 4 条及び横浜市公園条例第 28 条の 2 に基づき、前項に規定するスポーツ施設に係る管理を行うものをいう。

（指定候補管理者の選定）

第 3 条 選定は、期間を定めた公募により実施する。

2 前項の公募を行った結果として資格を満たす応募者がなかった場合には、公募要項の再検討等を実施した上で再公募を行うものとする。

3 前項の再公募によっても資格を満たす応募者がなかった場合には、局長は非公募により選定を行うことができる。

4 局長は、応募者の中からスポーツ施設の指定管理者を選定する。

4 5 局長は、次条に定める指定管理者選定評価委員会（以下「委員会」という。）の意見を尊重して、指定候補管理者の選定を行う。

5 2 団体以上の応募があった場合には、局長は、委員会の意見を尊重して次点候補者（指定候補者を指定管理者として指定できない事情がある場合において、当該指定できない候補者に代わって指定候補者となるべき者をいう。以下同じ。）の決定を行わなければならない。

（指定管理者選定評価委員会）

第 4 条 スポーツ施設の指定管理者の選定および、スポーツ施設の管理の業務に係る評価等について局長に対して意見を述べるため、指定管理者選定評価委員会（以下「委員会」という。）を置く。

2 委員会の組織及び運営に関し必要な事項は、局長が別に定める。

(指定候補管理者の選定基準)

第5条 指定候補管理者の選定にあたっては、次に掲げる事項を総合的に判断することとする。

- (1) スポーツ振興施策の方針を理解し、スポーツ施設の設置理念に基づく運営が図られること。
- (2) スポーツ施設の管理運営を安定して行うことができる実績及び能力を有していること。
- (3) スポーツ施設の利用者の利便性向上が図れること。
- (4) スポーツ施設の効率的な管理運営を行えること。
- (5) その他スポーツ施設の設置目的を達成するための取組が優れていること。

(申請書等)

第6条 指定管理者の指定を受けようとする者は、あらかじめ定められた期日までに、施行規則及び別途定める指定管理者公募要項に定められた提出書類を、局長に提出しなければならない。

2 局長は、前項の申請書類の一部又は全部を、委員会に必要な応じて提供する。

(選定の公表及び報告)

第7条 局長は、指定管理者の指定候補者及び次点候補者を選定したときは、速やかに選定結果を応募団体に通知するとともに、その結果を公表する。

(指定管理者の指定)

第8条 局長は、議会の議決を経て指定管理者に指定された者に対して速やかに指定の通知をするとともに、公告を行う。

2 指定管理者に指定された者と局長は、指定管理業務に関する協定を締結する。

附 則

(施行期日)

- 1 この要綱は、平成26年2月6日から施行する。

(要綱の廃止)

- 2 次に掲げる要綱は廃止する。

横浜市スポーツ施設等の指定管理者選定委員会要綱（平成17年4月1日）

横浜市スポーツ施設の指定管理者の選定に関する要綱（平成21年12月18日）